

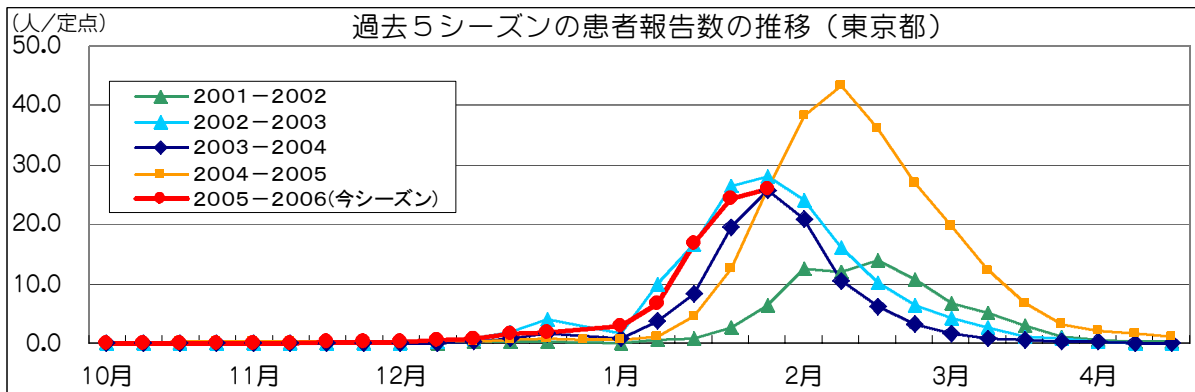
東京都 インフルエンザ情報

東京都健康安全研究センター

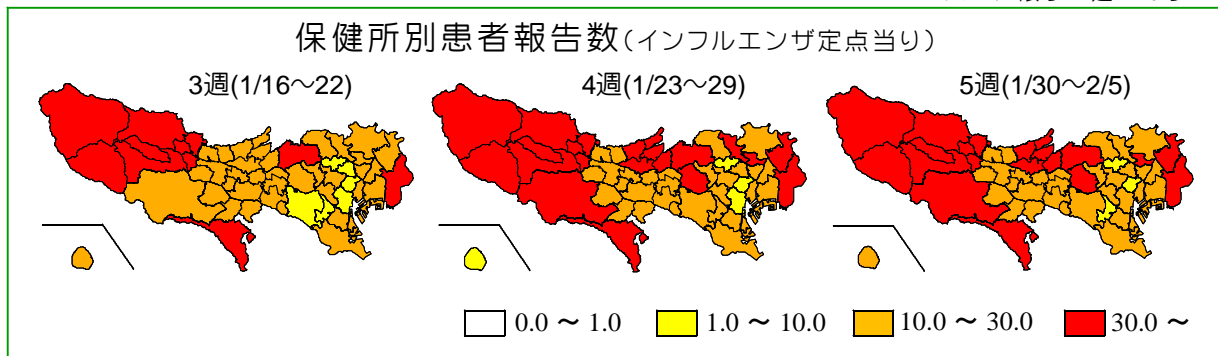
今号(第11号)のトピックス ****インフルエンザの流行注意報発令中****

- ・第5週(1/30~2/5)のインフルエンザ患者報告数は4,598人、定点当たり25.83人(去年同期、4,596人、定点当たり25.82人)
- ・定点当たり30人以上の地域: 5区、11市、3町、1村
- ・東京都の流行規模は、全国で25位
- ・今季検出されたAソ連型ウイルスとA香港型ウイルスの遺伝子系統樹を作成

流行状況



2004-2005シーズンに限り53週があります。



1 患者発生状況

インフルエンザ定点*からの第5週(1/30~2/5)の患者報告数は東京都で4,598人、定点当たり25.83人です(去年同期4,596人、定点当たり25.82人)。全国の患者報告数は141,222人、定点当たり30.09人です。

都内で定点当たりの患者報告数が30人を超えているのは、多摩小平保健所管内(53.6、小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市)、町田市(51.3)、西多摩保健所管内

(49.6、青梅市、福生市、羽村市、あきる野市、瑞穂町、奥多摩町、日の出町、檜原村)、練馬区(49.0)、江戸川区(44.0)、杉並区(40.6)、葛飾区(39.0)、八王子市(31.7)、荒川区(31.3)です。

*: インフルエンザ定点

インフルエンザの流行状況を把握するために、東京都では小児科定点142か所を含む178か所(全国約5,000か所)の医療機関を「インフルエンザ定点」として指定しています。

表1. 定点医療機関から搬入された検体の検査結果

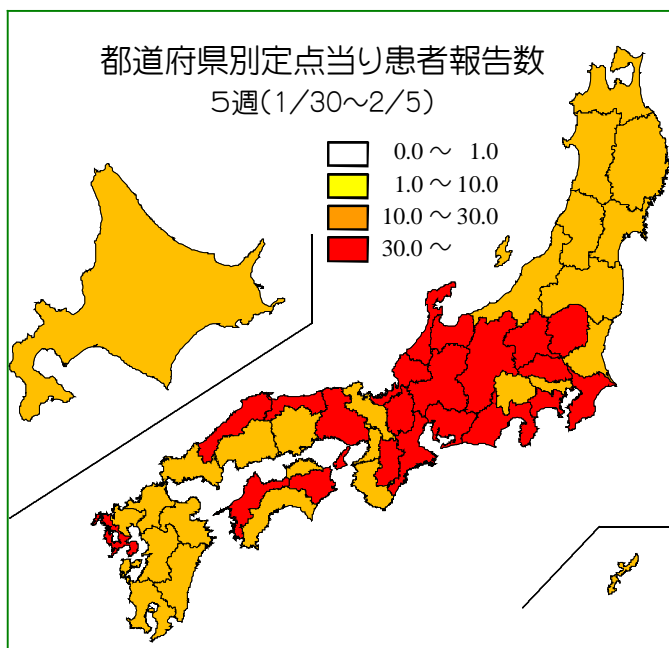
週	検体数*	陽性数	インフルエンザウイルス		
			Aソ連	A香港	B
52週(12/26-1/1) まで	102	3	0	3	0
1週(01/02-01/08)	38	21	6	15	0
2週(01/09-01/15)	43	27	7	20	0
3週(01/16-01/22)	72	48	4	44	0
4週(01/23-01/29)	65	37	1	36	0
5週(01/30-02/05)	39	11	3	8	0

*:上気道炎、下気道炎などの診断名で送付された検体を含む -:検査中

表2. 学校での集団発生として搬入された検体の検査結果

搬入日	管轄保健所	集団種別	検体数	陽性数	インフルエンザウイルス		
					Aソ連	A香港	B
12月末まで	6か所	幼稚園 小学校	26	20	2	18	0
1月13日	多摩小平	小学校	1	1	0	1	0
1月16日	多摩府中	小学校	5	4	0	4	0
1月16日	町田	小学校	5	4	0	4	0
1月16日	江戸川	小学校	5	3	0	3	0
1月17日	西多摩	小学校	4	2	2	0	0
1月17日	板橋区	小学校	5	4	4	0	0
1月17日	品川区	小学校	5	5	0	5	0
1月17日	池袋	小学校	1	1	0	1	0
1月18日	練馬区	小学校	3	3	3	0	0
1月19日	杉並	小学校	5	5	5	0	0
1月23日	北区	小学校	3	3	0	3	0
1月24日	大田区	小学校	4	4	0	4	0
1月25日	台東	小学校	5	2	0	2	0
1月26日	文京	小学校	1	1	0	1	0
1月31日	足立	小学校	4	4	4	0	0

-:検査中



インフルエンザの予防には

- できるだけ、人混みは避けましょう。
- 外出時にはマスクを利用し、帰宅時にはうがい、手洗いを忘れずに。
- 室内では加湿器などを使って、適度な湿度を保ちましょう。
- バランスよく栄養をとりましょう。
- 疲労や睡眠不足には注意しましょう。

2 東京都と全国の検査情報

2月9日現在、当センターに上気道炎、下気道炎等で搬入された検体から、A香港型126件、Aソ連型21件が、遺伝子検査法により検出されています。

2月9日までに集団発生（学級閉鎖等）21事例の検体が当センターに搬入され、15事例46検体からA香港型、6事例20検体からAソ連型が、遺伝子検査法で検出されています。

国立感染症研究所発行の病原微生物検出情報(IASR)によると、2月8日までに、42都道府県からA香港型、30都道府県からAソ連型、5府県からB型による患者発生が報告されています。

3 全国の流行状況

第5週(1/30~2/5)、依然すべての都道府県でインフルエンザ定点当りの患者報告数が10人を超え、その内21県は30人を超えています。愛知(53.9)では、定点当りの患者報告数が50人を超え、福井(49.8)、埼玉(45.1)、愛媛(44.7)など報告数の多い地域が段々と東の方に移ってきています。

東京(25.83)は、全国で25番目になっています。

◆ 東京都インフルエンザ情報 ◆

編集・発行

東京都健康安全研究センター
東京都感染症情報センター
(微生物部疫学情報室)
微生物部ウイルス研究科
多摩支所微生物研究科
企画管理部計画調整課

〒169-0073

東京都新宿区百人町3-24-1

TEL: 03-3363-3213

FAX: 03-5332-7365

idsc@tokyo-eiken.go.jp

http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/flu/



古紙配合率70%再生紙を使用しています

専門家向け情報

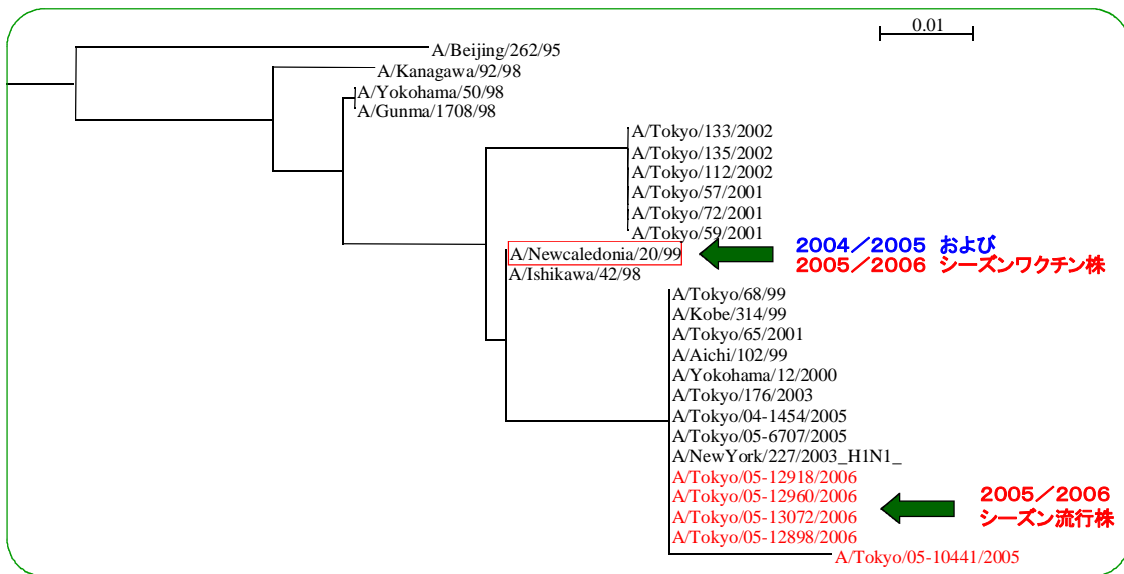
1 A型インフルエンザウイルスの進化 系統樹（東京都）

2005/2006シーズンに検出されたインフルエンザウイルスHA遺伝子の一部を Dye terminator cycle sequencing 法を用いたダイレクトシーケンスにより塩基配列を決定し、アミノ酸に変換後、過去に検出されたウイルス遺伝子のアミノ酸配列と共に系統樹を作成しました。

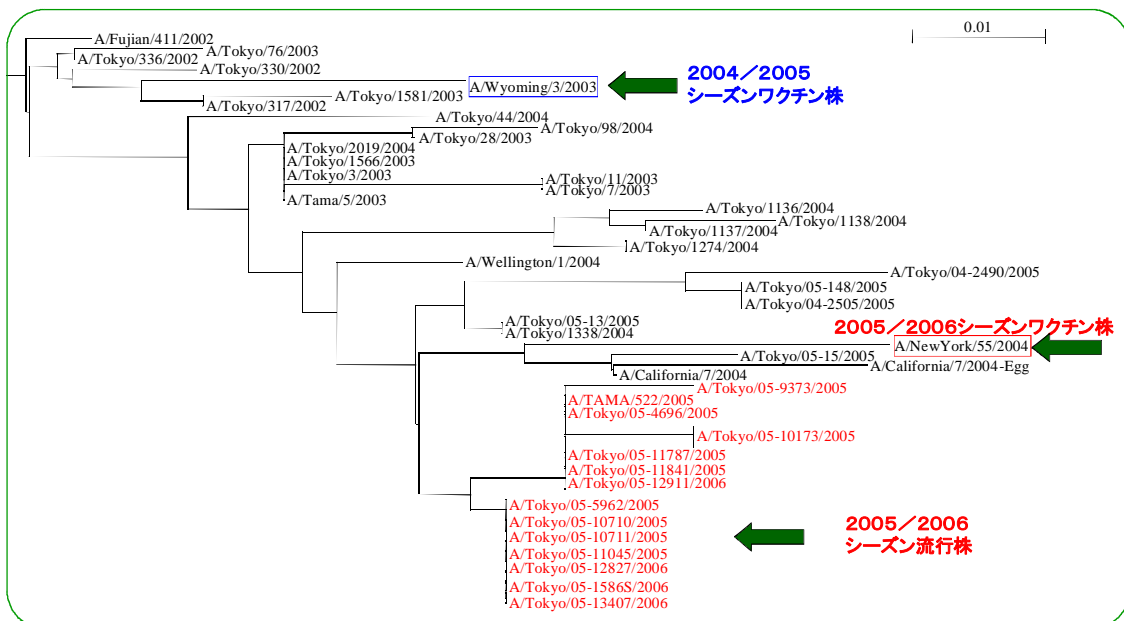
その結果、今季流行しているAソ連型（A

H1型）は、解析を行ったアミノ酸配列上ではワクチン株と比べ1アミノ酸が異なっていたのみであり、系統樹上では非常に近い株であることが判りました。

一方、今季流行しているA香港型（AH3型）は、解析を行ったアミノ酸配列上ではワクチン株と比べ4アミノ酸が異なりましたが、ワクチン株から分枝した比較的近い系統の株であることが判りました。



東京都におけるAソ連型（AH1型）インフルエンザウイルスのHA遺伝子系統樹



東京都におけるA香港型（AH3型）インフルエンザウイルスのHA遺伝子系統樹